

# 月刊えるる



令和4年4月末発行

えるるは、市民活動団体を応援しています。月刊えるるでは、市民活動を活性化するために役立つ様々な情報を発信していきます。

5月になり、新生活にも慣れて「何か新しいことを始めてみたい」そんな想いがふくらむときですね。大牟田市市民活動等多目的交流施設えるるは、「市民活動サポートセンター」を併設しています。たくさんの市民活動団体が、地域活動やボランティア活動などをされています。団体の活動のお手伝いや、自分たちでグループ（3名以上）を作り新規の活動などをしてみませんか？市民活動団体やNPO団体・ボランティア団体のパンフレットなど1階に配架・掲示していますので、ぜひご覧ください。またえるる利用サークル団体さんも新しく会員を募集されているところがあります。こちらも1階掲示板に募集チラシを掲示しています。あわせてご覧ください。



## 今月のおすすめ本

『アンちゃんの日本が好きすぎてたまらんバイ!』

アン・クレシーニ 著

西日本新聞に連載されている「アンちゃんの日本GO!」を、毎回楽しみに読んでいます。言語学者であるアンちゃんが好奇心いっぱいに日本と日本語を探求し、日本人が気付かない視点で掘り進む内容が、爆笑と気付きを与えてくれます。アンちゃんは宗像市在住で、この連載を日本語(博多弁)で書かれています。最近ではコメンテーターとして地元のテレビにも出演され流暢な博多弁を話されます。また動画配信サイトやSNSなどでエネルギーにいろいろな発信もされています。その内容も英会話の勉強にもなり、面白いですよ。



### 出版社の紹介文より

「北九大准教授のアメリカ人アンちゃんから見た、日本人もよくわからない日本のしきたりや不思議話、私たちが英語だと思って使っている「和製英語」の事などなど… 笑いあり、ちょっぴりホロリとくる、改めてアンちゃんが「日本の素晴らしさ」を日本人の私たちに教えてくれる楽しいお話が満載。今は流暢に日本語を語るアンちゃんだけど、日本に来た頃は恥ずかしい位数々の失敗のオンパレード!最高にバズった「恐怖のPTA体験」のブログも掲載!2018年から西日本新聞大好評連載中の「アンちゃんの日本GO!」の1話から100話までを初の単行本化。

## イベントレポート 「春らんまん！えるる食堂」

令和4年3月26日(土) ①11:15~ ②12:15~  
創作室・和室・料理室  
参加人数: 44名【大人25名(内3名は見守り)  
子ども19名 ボランティア3名(内2名は高校生)  
スタッフ4名】

3/26(土)「春らんまん！えるる食堂」を開催しました。感染症対策のため完全予約制とし、時間帯を2回に分け、1回・一部屋当たり的人数を12名ほどとしました。

食材は(有) たこ萬さん、フードバンク大牟田さん、有明・里山を守る会さん、社協さんなどから寄付していただいたお米、野菜やたけのこ、果物等を活用しました。開催時には、いつも市民の方からの食材提供やボランティアのご協力をいただいております、感謝しております。



3月最終週はたけのこの時期には少し早かったようでした。有明・里山を守る会さんからいただいたものは、クラムチャウダーに利用しました。

食品ロスの活動で、消費期限の近いお菓子や青汁などもお配りしました



## ☆今回のメニュー☆

春らんまんプレート(ミートパスタ・唐揚げ・春キャベツサラダ)クラムチャウダー・ミニおにぎり(焼きのり付き)・フルーツのバニラムースかけ・イオン飲料



春らんまん!のタイトルにちなみ、春の食材(春キャベツ・たけのこ・あさり・イチゴ・キウイ・有明のりなど)を使いました。また、防災食(ハンバーグの煮込み)を使い、ミートソースパスタへとリメイクしました。子どもたちにはたけのこ入りクラムチャウダーと鶏の唐揚げ、季節のフルーツのバニラムースかけが好評でした。

当日は、担当職員4人とボランティアスタッフとして一般の方1人、高校生2人(12時まで活動)で準備しました。一般のボランティアスタッフ3名ほどが持続的に来ていただければ、もっとスムーズと思いました。

手づくりで暖かい食事が、格安で食べられる子ども食堂は、近隣地域の子ども達が、一人でも食べに来やすいように、また子どもたちと一緒に、料理を作れるような工夫も必要だなと感じました。





月刊えるるでは市民活動（NPOやボランティア、地域活動など）で活躍中の方々を少しずつご紹介していきたいと思っています。  
これらの活動で出会える・ふれあえる・学びあえる、そしてつながるを応援します。

### 今月のイチオシ

## おおむたタオル帽子の会（社協ボランティア登録団体）さん

### ～団体さんについて～

おおむたタオル帽子の会は、がんの化学療法などの副作用により脱毛期をむかえられた患者さんへ手縫いのタオル帽子を作って無料で差し上げています。会のきっかけは、平成26年に大牟田市社会福祉協議会で開催された「笑顔のタオル帽子を作ろう」という講座の講師である大刀洗町在住の末次由美さんから、ご自身のつらい乳がんの体験をきっかけにタオル帽子を作り、通院していた病院へ持参するようになったという話をうかがったことです。当会は、この講座の受講者が中心となって立ち上げました。

病気で脱毛された患者さん用の療養帽子は市販されていますが、タオル地で縫った帽子は、通気性が良いので患者さんに喜んで使っていただいています。



### ～大牟田市での活動について～

市内や近隣の病院へ、タオル帽子の定期的な寄贈をしています。また個人的な希望者にも差し上げています。

以前は、えるるを利用して縫物をしていたこともありましたが、コロナ禍の中、会員が自宅で縫ってきたタオル帽子を持ち寄って、ラッピングや情報交換（おしゃべり）などを行っています。活動日は、主に毎月第3月曜日の午前中です。活動場所は月によって替わることがありますので、ご確認ください。

### ～えるる祭りに参加～

市民活動団体見本市えるる祭りにも参加いたしました。会の説明や、一緒に手縫い作業などを体験していただきました。



### ～これからについて～

地味な活動ですが、無理せず、楽しく、会員がそれぞれできることをやってきました。今後も変わらず継続していきたいです。

### ～会員・タオルの寄贈募集中～

会員の病気による活動休止などで、会員が少なくなってきました。タオル帽子は手縫いで簡単に作ることが出来ます。興味のある方はぜひご参加ください。会費はありません。

主な材料はイオンの黄色いレシートキャンペーンでいただいたギフトカードで購入したものでまかっています。また未使用のタオル寄贈も歓迎いたします。（社名の入っていないもの）

**連絡先: おおむたタオル帽子の会**  
**宮園**  
**携帯: 080-5264-5413**



S U N M O N T U E W E D T H U F R I S A T

1 R4年8月分 申請受付 開始日	2 休館日	3	4	5	6	7
8	9	10 ※人権 何でも相談	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21 △えるる講座
22	23 ○認知症カフェ 連絡協議会 ノルディック ウォークかぶえ	24	25	26	27	28 △えるる食堂
29	30	31	※大牟田市主催・社協主催△えるる主催 ○市民活動・ボランティア団体主催☆その他団体主催  つどいの広場のイベントは開催予定となっております。 詳しくはつどいの広場（52-5656）にご確認ください。			

休館日(毎月第1月曜日)  
5月2日(月)・6月6日(月)



○施設のご利用について○

※団体のイベントは中止・延期になる場合があります。開催の有無は主催者にご確認ください。また開催される場合は福岡県のHP、催物（イベント等）を開催する際の感染防止対策チェックリスト等をご覧いただき、主催者・参加者ともできる限りの対策をお願いいたします。

※駐車台数には限りがあります。出来るだけ公共交通機関をご利用下さい。

※講座開催時等に写真を撮影させていただきます。目的の範囲内でのみ利用し、個人情報保護に関する法令等に基づき管理いたします。なお、個人を識別できない統計データについては、当施設において何ら制限なく利用できるものとします。ご了承ください。

【発行】大牟田市市民活動等多目的交流施設  
(指定管理者 NPO法人ワークスコープ)

【住所】大牟田市新栄町6番地1

【TEL】0944-52-5285 【FAX】0944-43-1214

【E-mail】[eruru@roukyou.gr.jp](mailto:eruru@roukyou.gr.jp)

【H P】<https://www.omuta-eruru.com/>

【メルマガ登録はQRコードより】

